

# 持続可能なまちづくりに向けて —大崎市の行財政運営の改善の取り組み—

R8改訂版

資料2

## ▶大崎市の行財政運営の改善が必要です

○令和7年度から、大崎市は「持続可能なまちづくり」に向けて、  
行財政運営の改善に取り組んでいます。  
集中的に取り組む期間は、令和9年度までの3年間です。



○市の財政が健全に保たれていないと…



子育て・医療・防災など、「市民の皆さんの暮らしに欠かせないサービス」や  
「大雨や地震による自然災害の復旧作業」など  
必要な時に、必要な対応ができなくなります！



## 令和8年度の間より

大崎市では今年度、新しい総合計画の策定に取り組んでいます。  
総合計画の策定を進めながら、計画と行財政が一体となって、  
市民皆さんが安心して暮らせるまちづくりを実現していきます。



## ▶行財政運営の改善が必要な背景



### 背景1 将来の人口減少を見据えた行財政運営

- 大崎市の人口は、平成12年の約13万9千人をピークに減少が続いています。
- 令和27年には、約10万6千人まで減少すると予測、そうすると、「市税収入の減少や、少子高齢化による扶助費等の増加」が見込まれます。
- 働く世代（生産年齢人口）の割合も減少しており、地域経済への影響も心配されます。



#### ◆総人口の推移

|                   |                  |                   |                   |
|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 平成12年<br>139,313人 | 令和2年<br>127,330人 | 令和17年<br>117,645人 | 令和27年<br>105,737人 |
|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|

#### ◆生産年齢人口の推移

|                             |                            |                             |                             |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 平成12年<br>89,097人<br>(64.0%) | 令和2年<br>72,656人<br>(57.1%) | 令和17年<br>64,850人<br>(55.1%) | 令和27年<br>54,822人<br>(51.8%) |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|

出典：『国勢調査2020（R2）年』 総務省  
『日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）』国立社会保障・人口問題研究所

### 背景2 大崎市の台所事情を踏まえた行財政運営

- 必ず支払わなければならない「義務的経費」や、物価の高騰による「経常的経費」が年々増えています。



#### ◆義務的経費

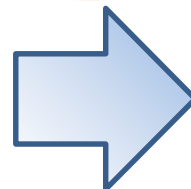
- ・人件費（職員給与など）
- ・扶助費（医療費、子育て支援、生活保護など）
- ・公債費（借入れたお金の返済金）

#### ◆経常的経費

- ・物件費（公共施設の光熱費や、管理委託料など）



収入は  
増えない



支出は  
膨らむ

対応策として…

- 市の貯金にあたる「財政調整基金」を取り崩して予算を組んでいます！

## 義務的経費と経常的経費

### ◆予算の推移 ～10年前との比較～

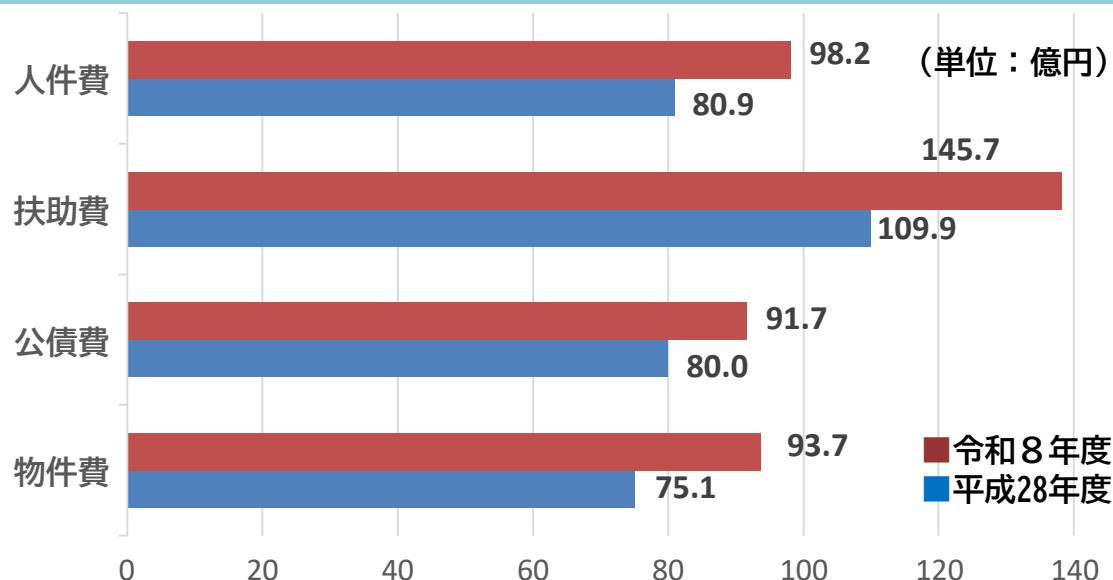


主に予算が増加した4つの費用のうち、

●医療、子育ての市民皆さんの生活を  
支える費用（扶助費）

●公共施設の光熱費や運営費など（物件費）  
の合計額は、

この10年間で54.4億円ほど、増加  
しました。



## 財政調整基金

### ◆市の貯金「財政調整基金」の推移 ～10年前との比較～



ピーク時（平成28年度：134億円）の  
約4分の1にまで減少しています！

年々減少しており、貯金による「備え」がないと、  
突発的な災害に対応できなくなります！



〈災害時の財政調整基金の一時取崩額〉

- 平成27年関東・東北豪雨(9.11) 16.7億円
- 令和元年台風19号(10.13) 40.0億円

（単位：億円）

| 年度        | H28   | ・  | R3   | R4   | R5   | R6   | R7   | R8            |
|-----------|-------|----|------|------|------|------|------|---------------|
| 取崩額       | 8.9   | ・・ | 23.1 | 19.3 | 20.5 | 22.4 | 4.8  | —             |
| 積立額       | 13.6  | ・・ | 11.7 | 11.5 | 12.7 | 7.3  | 8.9  | —             |
| 年度末<br>残高 | 134.1 | ・・ | 66.7 | 58.9 | 51.1 | 36.0 | 39.4 | 32.0<br>(見込み) |

## ▶ 取り組みの目標と今後の進め方

### 目標 行財政運営の改善に向けた2つの目標



○急な予算の使い道が出てきた時のために、しっかりと蓄えを確保する必要があることから、次の2つの目標を立てました

#### 貯金を取り崩さない！

(令和7～9年度の3年間の取組)  
短期的な目標

市の一般財源の投下額  
**390億円**

◆市の貯金に頼らず、収入の範囲  
内で予算を組める財政構造に転  
換します

#### 貯金を積み立てる！

(できるだけ早期の達成)  
中長期的な目標

財政調整基金(市の貯金)の目標額  
**50億円**

◆災害や緊急時に安心して対応で  
きる水準まで、貯金を回復させ  
ます

市が使い道を決めるお金  
**一般財源**を確保する！

令和8年度当初予算の一般財源：  
432.1億円との比較  
目標額まで、△42.1億円

◆一般財源をこの規模に抑えるこ  
とで、貯金に頼らない健全な財  
政運営が実現できます



### 方針 行財政運営の改善を進めるための3つの方針



○目標を達成するためには、市役所の組織の体質、進め方を変える必要があるため、次の3つの方針を立てました

市長を先頭に、市役所が一体となって、目標達成に向けて取組を推進します

➢ 取組の方向性を全庁に示して、すべての部署が連携して取組を進める仕組みをつくります

行財政改革の取組を職員一人ひとりが意識できる組織づくりを進めます

➢ 行財政運営の改善の取組を職員一人ひとりが共有して、予算の使い方を見直す仕組みをつくります

限られた財源の中で、必要な事業を見極めて、計画的に取り組めます

➢ 新しい総合計画(第3次総合計画)と一体となって、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを実現します



## ▶行財政運営を改善するための主な取り組み

令和8年度は、主に次の取り組みを進めます

### 計画的な予算の組み方

- 当初予算の金額、規模を早めに把握する
  - 早期に取組を開始して、事業の選択や見直しを行う
- 新しい総合計画等との連携を強める
  - 総合計画(実施計画)、事業評価など、予算編成に関わる取組が一体となって、事業費を精査していく

### 収入を増やすための取組

- ふるさと納税の推進
  - おおさきの特産品のPR強化、クラウドファンディングの実施
- 遊休資産の処分の迅速化
  - 情報発信の取組の強化、利活用の手続きの算定ルール化
- 手数料の見直し
  - 物価高騰による手数料の金額設定の見直し



## ▶市民の皆さんにご協力いただきたいこと

- 情報を知る：市の財政状況や行政改革の取組について関心を持ち、広報やウェブサイトなどで情報を確認してください。
- 意見を伝える：市民アンケートやパブリックコメント、説明会などに積極的に参加し、ご意見をお寄せください。
- デジタル化に協力：可能な方は、窓口ではなくオンラインでの手続きをご利用ください。



### 施設を整備するための優先順位のつけ方

- 市全体で優先順位を決定する仕組みを導入
  - 優先順位の高い施設整備から、予算を置く仕組みを整える
- 2つの視点による施設の評価
  - 建物の「老朽化や耐震性」と「運営コスト等」による評価を実施
- 各種施設を点検するためのマニュアルを整備
  - 簡易点検マニュアルの整備、専任部署によるデータの一元管理

### 昨年度からの取組

#### 建設事業の見直し

- 新規事業の調査・設計費用をゼロから見直し
- 継続事業の支出額を平準化
- 借金（地方債）を減らす



#### 事務の効率化

- デジタル技術の活用
- 職員の適正配置
- 事業の評価と見直し

#### 公営企業などへの負担

- 公営企業への繰出金の精査

友だち募集中！



大崎市LINE公式アカウントを  
ご利用ください →

@osaki-city